



2025～2026 年度

東京江東ワイズメンズクラブ ブリテン

DEC 12

つながる つなげる

東京江東クラブ会長 大原真之介

今月の
強調テーマ

キリスト教理解 / IBC

主体的に生きたイエス

学校法人東京YMCA学院院長 松本数実



今年度より、学校法人東京 YMCA 学院に学院長を務めさせていただいております松本数実です。江東ワイズメンズクラブの皆様方には江東 YMCA の働きを長年にわたってご支援いただき、感謝申し上げます。

さて、今年もクリスマスの時期がやってまいりました。幼稚園でもクリスマスイベントで忙しくも充実した時期かと思えます。

昨今の学校教育の考え方にアクティブラーニングや、探求など、与えられた答えを求めるのではなく、正解のないものを自ら考えて自分なりの正解を求めていくクリエイティブな方法、いわゆる主体的な取り組みが注目されています。社会でも時代の変化が速く、マニュアルに従って働く人間ではなく、自らの考えで問題を解決できる人間が求められているためか、教育も変わりつつあるのだと思います。江東 YMCA 幼稚園の保育方針は「主体的に生きる」ですが、まさに今の時代こそ主体的に生きる人間が必要とされていると思います。

私は1991年に東京 YMCA に入職し、主に学校、語学、国際、野外の分野で様々な仕事をさせていただきました。YMCA の現場でもスタッフがいかに主体的に働くことができるか、自分もまたリーダーとして主体的にどう行動するかに悩み続けてきました。主体的に動く理想的なリーダーの姿を考えていた時、それはイエスキリストの生き方がまさにモデルなのでは？と思いました。

神様は罪を犯した人間たちを滅ぼす選択もできましたが、そうせず、誰かの指示ではなく自らの判断で世に下り、イエスキリストの身となって自分を見える化し、罪人と共に生き、十字架で世人の罪を背負いました。人間を変えることもできたはずですが、まず自分を変えることを選択されました。課題の解決に向けて、誰かを責めず、まず自分から主体的に動くこと、自分から変わることで、イエスが示された生き方に学ぶことが、クリスマスの意味ではないのかと思わされます。

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS, CHARTERED, 1959
KOTO YMCA 3-15 ISHIJIMA KOTO-KU TOKYO JAPAN.
PHONE 03 3645-7171. FAX 03 3645-8454

国際会長 エドワード・オン (シンガポール)

主 題：“Faith, Love, Action” 「信念、愛、行動」
スローガン：“Together Stronger” 「共に、より強く」

アジア太平洋会長 田上 正 (熊本むさし)

主 題：“Act now with faith and love!” 「信念と愛を持って行動しよう！」

スローガン：“Contribute to local society together with YMCA and Youth!”

「YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう」

東日本区理事 山下 真 (十勝)

主 題：“Rediscovering Y's Uniqueness”

「ワイズのらしさ再発見」

スローガン：“Change!” 「Change!」

関東東部部長 鈴木雅博 (東京江東クラブ)

主 題：“CHANGE (変革) 若者から発信”

12 月例会

日時：12月14日(日) 18:00～

会場：アンフェリシオン

会費：メン 10,000 円 メネット 8,000 円

ゲスト 7,000 円

受付：駿河幸子さん、酒向裕司君

プログラム

第一部 礼拝

司式

井口 真君

前奏／讃美歌 267 番 「ああベツレヘムよ」

聖書 マタイによる福音書 1 章 18 節～ 25 節

奨励題 「イエス様をお迎えする」

奨励 小松美樹牧師 (日本キリスト教団 向河原教会)

献金／祝祷／後奏

二部 祝会

司会

本間剛君

会長挨拶

会長 大原真之介君

食前の感謝

佐藤アドリエンさん、子どもたち

乾杯

藤波聖佳さん

会食・懇談／プレゼント交換

誕生日・結婚記念日／スマイル・各種報告

締め

小松重雄君

閉会点鐘

会長 大原真之介君

今月の Happy Birthday 本間 剛君 (19 日)

結婚記念日 菊地夫妻

今月の聖句

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。(マコハネによる福音書 1 章 16 節)

11 月会員数	11 月出席者	11 月出席率	アクティブファンド		ニコニコボックス		クラブ役員	
26 名	メンバー 16 名	67% (15/24)	10 月まで	1655641	10 月まで	19810	会長	大原真之介
内広義会員 1 名、 休会 1 名	メネット コメント		11 月分	0	11 月スマイル	0	相談役	小松 重雄
	ゲスト				累計	19810	会計	駿河 幸子
休会 1 名	ビジター		残高	1655641			書記	滝沢 圭太
							直前会長	相川 達男
							連絡主事	井口 真

11月合同例会報告

相川達男



江東クラブ 11 月の本例会は、ひがしクラブ、グリーンクラブとの合同例会となりました。合同例会ということで江東クラブ従来の本例会日とは異なり、ひがしクラブの本例会日である第 2 木曜日の開催、会場は東陽町センターとなりました。ゲストスピーカーは今話題の大相撲「安治川部屋」女将、杉野森枝里さん。「安治川部屋」と言えば九州場所で優勝を果たしたウクライナ出身の力士「安青錦新大」有する今一番ホットな相撲部屋です。江東ワイズの拠点、YMCA 江東センターから 100 m ほどのところに新しく部屋を構えられたこともあり、江東 YMCA 幼稚園のお餅つきにも同部屋のお相撲さんに参加をお願いしたり、江東ワイズのメンバーには非常に親近感の沸く相撲部屋です。女将さんに講演をいただいた 11 月 13 日の時点では、安青錦関の優勝は決定していませんでしたが、その 10 日後の千秋楽で見事優勝を勝ち取り、その後は優勝力士の部屋女将としてテレビの画面でも度々お見掛けすることができました。合同例会は 3 クラブで 30 名ほどの参加者があり、ひがしクラブ金丸さんの軽快な司会進行の元、樋口グリーンクラブ会長の開会点鐘でスタートしました。食事の後、「相撲部屋四方山話」と題された講演では安治川部屋の 5 人の力士の事や、親方（元安美錦関）の事、日々の力士の生活の事、後援会や巡業の事など多岐にわたり我々相撲ファンにとっては興味深い事ばかり時間を忘れて聞くことができました。何かと忙しい女将さんは講演が終わると次のお席があるとのことで早々に会場を後にされましたが、その後 3 クラブ合同の写真撮影を行い、定番のまぐろダイニングへ会場を移し、ひがし、グリーン、江東の仲良し 3 クラブの面々は大いに盛り上がったのでありました。私相川は、日頃相撲に関してはスポーツニュースで結果を観る程度でしたが、女将さんの講演を聞いて今までよりも少し詳しく情報収集をするようになりました。今度機会があれば「安治川部屋」覗いてみたいと思います。

伊東クラブ創立 50 周年記念例会祝賀会

藤井寛敏

11月15日小松（重）、酒向、相川君と踊り子号に乗り込む。早速昼食、ビールで乾杯、一人旅が多かった今年のワイズで最後に 4 人旅で何となくうれしい。そばの席には八王子クラブの、少し離れた席にはひがしクラブの面々が。乗車にはあらかじめ酒向さんが手配してくれたので Suica を通すだけで OK。新しい経験。50 周年記念例会は、金子正樹会長の開会の点鐘と山田光彦次期会長の開会の言葉によりスタート。伊東市少年少女合唱団による素晴らしい Welcome Harmony「みかんの花咲

く丘」に思わず口ずさむ。伊東市の市歌と確信（？）*。ワイズの信条、ワイズソング、讃美歌と続き、以下内外部からの来賓祝辞、6 人のメンバーのメモリアル、記念事業として北見クラブとの DBC の締結、チャーターメンバー表彰と続き、金子会長の閉会点鐘により記念例会を終了した。会場を大漁苑に移し祝賀会がスタートした。元アジア太平洋地域会長の田中博之さんからの祝辞に続き、東日本区役員、関係クラブ役員、DBC クラブ役員の祝辞などがあり、下田クラブ会長の長田俊二会長の乾杯により食事に入った。エンターテイメントして伊東スパークスと富士宮クラブの佐野加奈さんによるフルートの共演に酔いしれた。

伊東クラブは過去に 3 回も区大会をホストし、私の記憶では 50 名近いメンバーを擁し区でも最も活発なクラブの一つの記憶がある。最近では 20 名ほどのメンバーになりながらも活性化の道を目指しつつあり、ブリテンの編集にも DBC の締結にもその意気を感じた。地元富士山部から 67 名が、西日本区 DBC 2 クラブから 29 名、新 DBC の北見から 4 名その他の東日本区から 15 クラブ 33 名の沢山のメンバーがお祝いに駆け付けたのは伊東クラブの発展を祝福し、心から応援しているに他ならない数字と理解した。

Come On Guts ! 伊東クラブ!!



*「みかんの花咲く丘」は昭和 21 年に発表され、日本人の心を長く支え続けているが小生は伊東市の歌と確信したが調べてみると歌詞の風景は作詞者の佐藤省吾氏の出身地の伊東市宇佐美町であり、町の亀石峠に歌碑があるとのことであった。まんざら小生の確信は当たらずとも遠からずであった。

11月9日江東YMCAバザー

大原真之介

秋の雨が降ったり止んだりとなんと主催者泣かせのお天気ではあったが、様々なイベント巧者の YMCA ならではの園庭に敷き詰めた 6 本足テント設置や導線の良さにより、雨を感じさせない賑わいのある例年通り活気あるバザーが開催された。オープニングはミカさん with リーダーズによるバイオリンとエアバンドのショーがあり、米谷実行委員長の謎のドラえもんらしき雰囲気なオマージュした仮装と挨拶があり何となく、暖かい雰囲気でのスタートであった。

我らワイズコーナーは恒例の焼き鳥 & うどんそばを担当。開始の 10 時から 12 時頃まで、現役園児のパパさん 3 名や酒向ワイズのご子息（そうや君）の応援もあり、和やかに無理なく楽しく両コーナーを担当していった。

しかしながら、パパさんたちの担当お時間が終わり、そうや君ともお別れした後にピークタイムが訪れたのであった。

その時店内、酒向さん、佐藤さん大原の 3 人しかおらずしば

らく、てんてこまい＆ピンチの時間があつた。長蛇の列が発生してしまい申し訳ない気持ちで汗だくとなっていたところ、3つも4つも？掛け持ちがある佐藤アドリエンさんや滝沢さんそして、西澤さん、と徐々に仲間が増えなんとか最後まで無事に終えたのであつた。打ち上げのアルコールもしっかり摂取し充実した秋の一日となった。準備や協力、バザー開催に尽力された全ての皆様に感謝である。

、、、「やっぱりバザーは11月3日だよなー」とどこかしら天の声もチラホラ聞こえてきたのであつた、11月3日はなんで雨が降らないのだろう？？笑

バザーお手伝い 献品コーナー編

藤波聖佳



まだまだ夏の暑さがしっかりと残る九月の終わりのこと、こまちょから一本の連絡がありました。「バザーの献品コーナー、今年は人手が足りなくて。リーダー OBOG で運営できないかな？ せいかに主担当として手伝ってほしいんだ」そんな突然のお誘いから、今年のバザーは始まりました。

私のミッションは当日の運営。まずは一緒に動いてくれる OBOG 集めからのスタート。状況も詳細も分からないままの船出でしたが、当日は江東だけでなく山手や友人まで巻き込んで、気付けば10名の心強いチームに！はじめましての人も多いなか、みんなのコミュニケーションスキルと連携のおかげで、会場はあたたかい空気に包まれていました。無事に一日を終えられたのは、集まってくれた皆さんのおかげです。本当にありがとう！

後になって知ったのですが、献品コーナーは当日だけでなく準備もなかなかの大仕事。値付けや前日の設営など、人手が必要な場面も多かったようです。準備の様子を話すと「全体の流れや役割がもう少し早く分かっていたら手伝いに行けたかも」という声もいくつか聞こえてきました。

仕事や家族で忙しい日々でも「江東のために何かしたい」と思っている OBOG は多いと感じます。だからこそ、気軽に・誰でも・負担なく関われる仕組み作りがこれからもっと大切になっていくのかもしれませんが。時代に合わせて私たちも変わっていけたら、そんなことを考えたバザーでした。

バザー警備報告

島田 徹

令和7年11月9日小雨の中、例年と同様約30名ほどの開始を待つお客様を迎え献品販売が始まりました。今年警備は父兄の父親が5名参加しトラブルのないよう目を光らせて対応しました。

昨年と同様我先に求められるお酒類や食料品は少なく、皆さ

んどれだけ良いものをお安く手に入れるか品定めに真剣に没頭している姿は世相を現しているのでしょうか？

今年は一度閉めた後に値引きする販売がなくなり、我がワイズメンの藤波君との交渉で金額が変わるので中々熱心なお客様とやり取り大変な様子でした。心よりお疲れ様と申し上げます。売上はともかく特に問題なかったと報告いたします。

チャイルドガーデン

サトウ アドリエン

晴れた空のもと木場公園の中のチャイルドガーデンで、在園児・卒園児、そして保護者の皆さん約45名が集まり、500個のチューリップの球根を植えるあたたかな活動を行いました。やわらかい土に触れながら、子どもたちは「大きなあれ」と声をかけてそっと球根を包み込むように植えていき、見ているこちらまで心がぽかぽかしてくる時間でした。卒園したお兄さん・お姉さんたちが優しく教えてあげる姿もあり、そこには学年を越えた優しさが自然にあふれていました。保護者同士も笑顔で協力し合い、子どもたちの頑張りを見守りながら、同じ気持ちを共有できるひとときとなりました。来春、色とりどりのチューリップが咲きそろう、この日の温かな思い出が花となって広がっていくことを想像すると、今から胸がいっぱいになります。今回の活動も子どもたちの優しさを改めて感じられる大切な時間となりました。(写真は次ページ参照)

11 月度役員会議事録

2025年11月27日(木) 19:00～21:00 江東センター
参加者：相川、井口、駿河、相川 (Zoom) 大原、滝沢

1. 安治川部屋への祝い金

優勝祝いとして拠出を検討。YMCAとワイズで5万円ずつ折半(計10万円)の方向で調整。

2. クリスマス例会

出席：約23名 人数確定は12/12まで
出欠・未定者のリストを整理し、連絡担当も割り振り済み。
スタッフ支援はYMCAとワイズで半分ずつ。持込みプレゼント代2,000円のみ個人負担。

会場費

以下の形で値上げ

大人：9,350円(飲み放題)／8,800円(ノンアル)

10歳以上：5,500円

10歳未満：3,630円

役割分担

第1部：礼拝(奨励：小松牧師、司式：井口さん、ヒム：駿河さん)

第2部：祝会(乾杯：藤波さん、受付：駿河さん／酒向さん、仮装セット：佐藤アドさん)

子どもプレゼント：相川さん、牧師調整：大原さん、印刷物&ネーム：井口さん、参加人数・席次表(寺尾さんへ連絡)：大原さん、プログラム：大原さん・滝沢さん)

プレゼント交換案「黄色／赤の1～50カード」方式
取られた枚数分のカードをBOXに入れて引くスタイル。

3. 新年例会

会場：アンフェリシオン 1/25(日)開催(師匠都合による)
開始：例年通り17時頃から

YMCA ニュース



チャイルドガーデン・ワイズガーデン

江東コミュニティセンター&幼稚園 江東YMCAの報告

●子育て支援 おはなし会

11月29日(土) 10:30～11:00 はじめての子育て支援! おはなし会が持たれました。読み手は在園時保護者によるおはなし会ボランティアサークル「あんころもち」



園庭開放「こぐま広場」に参加していた2歳児中心の参加でしたが、大盛況で10組の親子が参加されました。どのお母さんも満面の笑顔で「楽しかった!」と言ってくださったのが印象的でした。

●チャイルドガーデン・ワイズガーデン

11月29日(土) 10時～、木場公園で、江東ワイズメンズクラブが開拓したワイズガーデンにチューリップの球根を植えました。今ではチャイルドガーデンという呼び名になっています。今年も球根は株式会社香取にお願いをしました、「どうぞ使ってください」と無償提供を受けました。2つの小学校の学習発表会と重なっていて、参加者が少ないことが懸念されましたが、蓋を開けてみれば昨年を上回る16ファミリー、ワイズ、スタッフを合わせて総勢44名の参加でした。1時間を予定していましたが40分で500個の球根を植えました。春になって色とりどりのチューリップが並ぶのが楽しみです。

●アドベント

バザーが終われば、すぐに幼稚園はクリスマスに気持ちを向けていきます。11月12日(水)に今年度の待望礼拝をおこないました。ここから子どもたちは、クリスマスのお話をたくさん聞いて、アドベントの時を過ごします。毎朝誰かに神様の「ひかり」が届き、毎週アドベント礼拝があり、ページの見本を見たり、配役を話し合ったり、アドベントクラツを作ったり。神の子イエスさまのお誕生が近くなることを、心から楽しみに過ごしています。



編・集・後・記

会社にテレビの取材。出るのは後輩に任せて裏方対応。どんな映像になっているか。(Y.S)
あっという間に師走。3月に10キロ走るためにまた走り出しました。(BB)

江東センター&幼稚園の予定

- 幼稚園終了式: 12月19日(金)
- 休館: 12月27日(土)～1月5日(日)
- 幼稚園始園式: 1月10日(金)
- オール江東ファミリースキー: 1月31日(土)～2月1日(日)
- オール江東雪遊びキャンプ: 2月13日(金)～15日(日)

オール東京の報告

- 11月4日～6日、東京YMCAがホストし、「第22回ソウル・台北・東京YMCA指導者協議会」が開催。3都市YMCAの役員、会員、職員など54名が参加。基調講演「賛育会“赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト”～すべてのいのちが守られるために～」の他に、各YMCAの活動報告、都内観光等を通して、相互の学びと交流がはかれた。
- 11月13日、「YMCA・YWCA合同祈祷週礼拝」が在日本韓国YMCAにて開催。会員、職員など44名が参加。金聖泰牧師(在日大韓基督教会 東京教会 副牧師)に奨励「回復する家の物語」をいただいた。第2部では交流の時を持った。
- 11月15日、「国際協力一斉街頭募金」を新宿駅周辺で実施。会員、ユースボランティア、園児など約110名がバングラデシュとウクライナへの支援を呼びかけ、200,771円が寄せられた。
- 今後の主な行事予定
 - ・「職員クリスマス礼拝」12月16日 会場: 日本基督教団 霊南坂教会
 - 説教: 上林 順一郎牧師
 - 奏楽: 飯靖子氏(東京YMCA理事)
 - ・「ソシアスフォーラム2025」1月31日(山手センター/オンライン)

江東ワイズ 今後の予定

12月4日(木) 19:00～	第一例会	江東センター
12月14日(日) 18:00～	クリスマス例会	アンフェリション
1月8日(木) 19:00～	第一例会	江東センター
1月25日(日) 17:00～	新年例会	アンフェリション
1月29日(木) 19:00～	役員会	江東センター